

Rozetta Phrase

基本操作マニュアル

～T-3MT 自動翻訳フロー編～

Ver.06.0

2023 年 1 月



目次

はじめに.....	2
1. 初期設定.....	3
ログイン.....	3
機械翻訳エンジン.....	4
有効な言語.....	6
ファイルインポートの設定.....	7
2. 翻訳条件の指定.....	8
プロジェクト.....	8
翻訳メモリ.....	9
用語ベース.....	10
3. 自動翻訳の実行.....	12
翻訳ジョブ.....	12
ポストエディット.....	13
訳文ダウンロード.....	14
4. 分野/カスタムモデルの変更.....	15
プロジェクト編集.....	15
プロジェクトの使い分け.....	16
5. カスタムモデルの作成.....	17
翻訳メモリのエクスポート.....	17
カスタムモデルの登録.....	18
6. サポートの依頼.....	19
ヘルプウィジェット.....	19
7. 付録.....	20
分野 ID、分野名、サポート言語ペア対応表.....	20
翻訳言語.....	21
カスタムモデル生成言語.....	23
対応ファイル形式.....	24
T-3MT 仕様.....	25

はじめに

Rozetta Phrase（ロゼッタ版フレーズ）は、ロゼッタが提供するプロ翻訳者レベルのAI翻訳エンジン「T-400」と超絶カスタマイズ AI 翻訳エンジン「T-3MT」を、業界標準の翻訳管理システム「Phrase TMS」に統合したサービスです。高品質な機械翻訳＋ポストエディットを求めるエンドユーザーや翻訳会社向けに、株式会社ロゼッタが Phrase TMS の OEM 版として提供しています。

本マニュアルでは **T-3MT エンジン**を使用して Rozetta Phrase で自動翻訳を行う際の一連のフローをご紹介します。まず本マニュアルを一読し、ログインから機械翻訳エンジンの設定、翻訳条件の指定、自動翻訳の実行、訳文ファイルのダウンロードにいたるまでの大まかな流れを把握してから、別冊の『Rozetta Phrase 基本操作マニュアル～Rozetta Phrase 編～』や『Rozetta Phrase 基本操作マニュアル～Editor 編～』で詳細を確認することをお勧めします。

特に断りのない限り、本書では Rozetta Phrase のスタンダードエディションである**チーム版**について説明しています。本書の記載は、製品のバージョンアップなどの事情により、実際と異なる場合があります。

本マニュアルを読んでも問題が解決しない場合、**ロゼッタのサポートチームに日本語または英語でお問い合わせいただけます**。ログイン後のサービス画面右下に表示されるヘルプウィジェットから、サポートをご依頼ください。お問い合わせ先は Phrase 社ではなくロゼッタになります。

Rozetta Phrase サービスサイト : <https://main.rozetta-phrase.jp>

Rozetta Phrase ヘルプサイト : <https://help.rozetta-phrase.jp>

1. 初期設定

Rozetta Phrase で自動翻訳を行うための設定を行います。**緑色ハイライト部分はロゼッタの推奨設定です。**

■ ログイン

#	手順	画面
1	https://main.rozetta-phrase.jp から Rozetta Phrase にアクセスします。	
2	ユーザー名とパスワードを入力して、データセンターのプルダウンメニューで「欧州連合」を選択し、「ログイン」ボタンを押下します。 ※Rozetta Phrase ユーザーはアメリカのデータセンターを選択できません。	 The login screen for Rozetta Phrase. It features the logo at the top, followed by a message: 'PhraseとMemsourcesは共に向上するために統合しました。' Below this are input fields for 'ユーザー名' (username) with 'rozetta_demo_01' and 'パスワード' (password) with masked characters. A 'データセンター' (data center) dropdown menu is set to '欧州連合' (European Union). There is a checkbox for 'サインイン情報を記憶する' (Remember sign-in information) and a large black 'ログイン' (Login) button.
3	プロジェクト画面が表示されます。	 The project management interface. On the left is a sidebar menu with options: 'プロジェクト' (Project), 'ジョブ' (Job), '翻訳メモリ' (Translation Memory), '用語ベース' (Terminology Base), 'ユーザー' (User), '分析' (Analysis), 'サブミッターポータル' (Submitter Portal), and '設定' (Settings). The 'プロジェクト' option is highlighted. The main area is titled 'プロジェクト' and contains a dropdown menu currently showing '全て' (All).

■ 機械翻訳エンジン

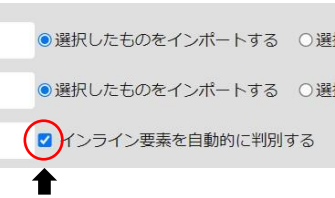
#	手順	画面
4	画面左側のメニューから「設定」タブをクリックします。	
5	設定画面の下方にある「インテグレーション」欄の「機械翻訳エンジン」リンクをクリックします。	
6	「機械翻訳エンジン」欄で「作成」ボタンを押下します。	
7	ポップアップ画面の「MT エンジンのタイプ」プルダウンメニューから「Rozetta T-3MT」を選択します。	
8	「作成」ボタンを押下します。	

9	作成画面で T-3MT 製品版の「ユーザー名」「パスワード」を入力します。 ※Rozetta Phrase ではなく <u>T-3MT 製品版</u> のユーザー名（通常はメールアドレス）とパスワードを入力してください。 ※初期パスワードのままでは認証が通らないことがあります。<u>T-3MT 製品版</u> にアクセスして、ご自身のパスワードに変更したうえで、再度お試しください。	種類 Rozetta T-3MT 名称 ユーザー名 demo@rozetta.jp パスワード 分野/モデルID ☐ タグを含む ☐ デフォルトに設定 保存
10	分野を登録する場合、「分野/モデルID」に「L+6桁数字」の分野IDを入力します。 ※分野IDは、付録の「分野ID、分野名、サポート言語ペア対応表」で確認します。	パスワード 分野/モデルID L100001 ☐ タグを含む ☐ デフォルトに設定 保存
11	カスタムモデルを登録する場合、「分野/モデルID」に「M+7桁数字」のカスタムモデルIDを入力します。 ※カスタムモデルIDは、<u>T-3MT 製品版</u> の「ファイル管理」の「カスタムモデル」タブにあるカスタムモデル一覧で確認します。	パスワード 分野/モデルID M6789012 ☐ タグを含む ☐ デフォルトに設定 保存
12	「名称」には機械翻訳エンジンに関する説明を記入します。「名称」欄にエンジン名、カスタムモデルID、カスタムモデル名、分野名、言語方向などの情報を含めておくと、どのような文書を翻訳するための機械翻訳エンジンであるかを後から判別しやすくなります。	汎用モデル： 種類 Rozetta T-3MT 名称 T-3MT L100001 IT・機械・電気電子 日本語⇄ カスタムモデル： 種類 Rozetta T-3MT 名称 T-3MT M6789012 ITマニュアル IT 英語→日本
13	必要に応じて「タグを含む」「デフォルトに設定」のチェックボックスをONにします。「タグを含む」をONにすると、原文の書式情報（タグ）が訳文に自動的に挿入されます。	パスワード 分野/モデルID L100001 ➡ ☒ タグを含む ☐ デフォルトに設定 保存
14	「保存」ボタンを押下します。	
15	複数の分野/カスタムモデルを登録する場合は、6～14の手順を繰り返します。	

■ 有効な言語

#	手順	画面
16	設定画面の上方にある「管理」欄の「有効な言語」リンクをクリックします。	管理 スペルチェッカー ペンダー メールテンプレート ユーザー 有効な言語 ← プロジェクトの設定 TM一致コンテキストと最適化 アクセスとセキュリティ
17	アクティブ欄で、Ctrl キーを押しながら原文言語、訳文言語として使用する可能性が少ない言語をまとめて選択し、左矢印をクリックして非アクティブ欄に移動します。 ※2023年1月の時点で T-3MT エンジン は 25 言語の翻訳をサポートしています。詳しくは、付録の「翻訳言語」をご覧ください。	
18	検索機能を利用すると、目的の言語を簡単に見つけられます。検索語句を入力すると、非アクティブ欄、アクティブ欄の言語が自動的に絞り込まれます。	
19	「保存」ボタンを押下します。	

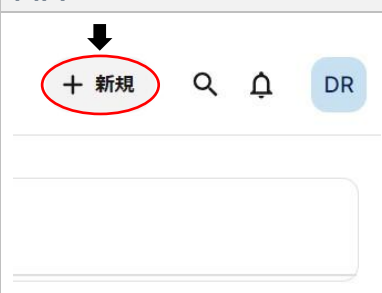
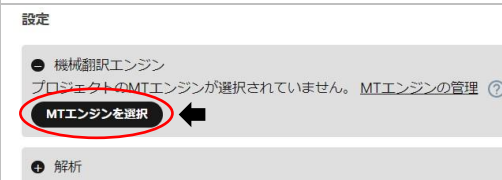
■ ファイルインポートの設定

#	手順	画面
20	設定画面の中ほどにある「プロジェクトの設定」欄の「ファイルインポートの設定」リンクをクリックします。	プロジェクトの設定 TM一致コンテキストと最適化 アクセスとセキュリティ カスタムファイルの種類 セグメンテーション ファイルインポートの設定 ← プロジェクトステータス自動化 ワークフローステップ 一括翻訳 解析 訳文完成ファイル名とエクスポートパス
21	ファイルインポートの設定画面で「XML」欄をクリックして開きます。	 ☒ Microsoft Word ☒ Microsoft PowerPoint ☒ Microsoft Excel ☒ 多言語MS Excelファイル ☒ HTML ☒ XML ← ☒ 多言語XML
22	「翻訳可能インライン要素」欄の右横にある「インライン要素を自動的に判別する」のチェックボックスを ON にします。このチェックボックスを ON にすると、自動翻訳時に XML タグの前で文分割される問題を回避できます。7	 ☒ 選択したものをインポートする ☐ 選択したものをインポートしない ☒ 選択したものをインポートする ☐ 選択したものをインポートしない ☒ インライン要素を自動的に判別する ↑
23	画面最下部の「保存」ボタンを押下します。	

2. 翻訳条件の指定

自動翻訳の条件はプロジェクト単位で指定します。原文言語、訳文言語、機械翻訳エンジン、分野/カスタムモデル、翻訳メモリ、用語ベースなどをプロジェクトごとに設定し、変更できます。

■ プロジェクト

#	手順	画面
24	〔プロジェクト〕 タブを選択し、画面右上にある〔新規〕 アイコンをクリックします。	
25	〔プロジェクトを作成〕 画面が開きます。〔名称〕 欄でプロジェクトに名前を付けます。	
26	〔原文言語〕 プルダウンメニューで原文の言語を選択します。〔訳文言語〕 メニューで訳文の言語を選択します。	
27	〔設定〕 欄の〔機械翻訳エンジン〕 をクリックして開き、〔MT エンジンを選択〕 ボタンを押下します。	

28	ポップアップ画面で使用する分野/カスタムモデルのチェックボックスを ON にして、[選択した MT エンジンを使用] ボタンを押下します。	機械翻訳エンジンを選択 ☐ T-3MT L140001 建設 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT ☐ T-3MT L150001 自動車 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT ☐ T-3MT L160001 電気 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT ☐ T-3MT L200001 医薬・化学・環境 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT ☐ T-3MT L220001 化学 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT ☐ T-3MT L230001 食品 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT ☒ T-3MT L300001 特許 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT ☐ T-3MT L420001 金融・IR・会計 日本語⇔英語 Rozetta T-3MT
29	使用したい分野/カスタムモデルが見当たらない場合は、「 <u>機械翻訳エンジン</u> 」の手順を参照して、分野/カスタムモデルを追加します。	
30	[作成] ボタンを押下します。	

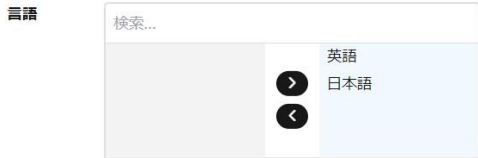
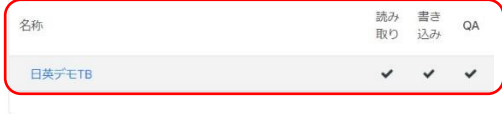
■ 翻訳メモリ

#	手順	画面
31	作成したプロジェクトの [翻訳メモリ] 欄で [新規作成] ボタンを押下します。	
32	[名称] 欄でメモリに名前を付けます。	翻訳メモリ / 作成 名称 日英デモTM 原文言語 日本語 訳文言語 検索... 英語

33	【原文言語】 【訳文言語】 欄には、プロジェクトの設定と同じ言語が自動的に挿入されます。	
34	【作成】 ボタンを押下します。	
35	プロジェクト画面の【翻訳メモリ】 欄に、作成した翻訳メモリが【読み取り】 【書き込み】 にチェックが付いた状態で表示されます。	
36	既存の翻訳メモリを取り込む場合は、作成した翻訳メモリの名称リンクをクリックし、【インポート/エクスポート】 欄で【インポート】 ボタンを押下します。	

■ 用語ベース

#	手順	画面
37	作成したプロジェクトの【用語ベース】 欄で【新規作成】 ボタンを押下します。	

38	〔名称〕 欄で用語ベースに名前を付けます。	用語ベース / 作成 						
39	〔言語〕 欄には、プロジェクトの設定と同じ言語が自動的に挿入されます。	 ドメイン ドメインを選択 サブドメイン サブドメインを選択 備考 作成						
40	〔作成〕 ボタンを押下します。							
41	プロジェクト画面の〔用語ベース〕 欄に、作成した用語ベースが〔読み取り〕〔書き込み〕〔QA〕にチェックが付いた状態で表示されます。							
42	既存の用語ベースを取り込む場合は、作成した用語ベースの名称リンクをクリックし、〔インポート/エクスポート〕 欄で〔インポート〕 ボタンを押下します。	インポート / エクスポート インポート エクスポート ↑ 関連プロジェクト ▲ <table border="1"> <thead> <tr> <th>#</th> <th>名称</th> <th>作成日時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>216</td> <td>日英デモプロジェクト</td> <td>11/15 14:50</td> </tr> </tbody> </table>	#	名称	作成日時	216	日英デモプロジェクト	11/15 14:50
#	名称	作成日時						
216	日英デモプロジェクト	11/15 14:50						

3. 自動翻訳の実行

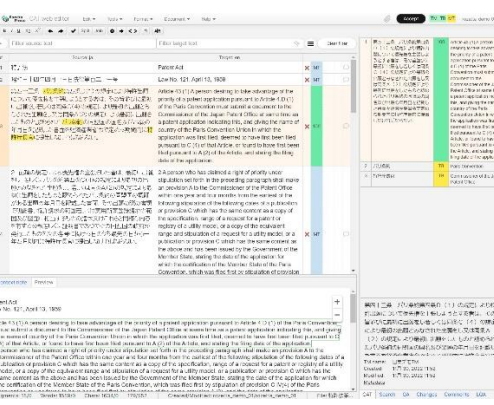
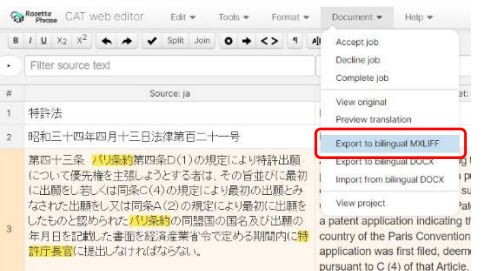
翻訳条件の指定が完了したら、その条件の下で原稿ファイルをアップロードして自動翻訳を実行します。

■ 翻訳ジョブ

#	手順	画面
43	プロジェクト画面の「ジョブ」欄で「新規作成」ボタンを押下します。	
44	ジョブの作成画面で「ファイル選択」ボタンをクリックし、原文ファイルを選択して「開く」を押下します。 ※Rozetta Phrase は 50 種類以上のファイル形式をサポートしています。また、T-3MT エンジンを使用する場合、最大 5 個のファイルをまとめてアップロードできます。詳しくは、付録の「対応ファイル形式」と「T-3MT 仕様」をご覧ください。	
45	自動翻訳を実行する場合、「一括翻訳」のチェックボックスを ON にします。実行したくない場合は、このチェックボックスを OFF にします。	
46	「作成」ボタンを押下します。	

47	「ジョブ」欄に訳文ファイルが表示され、自動翻訳が完了すると、プログレスインジケータが消えます。	
----	--	--

■ ポストエディット

#	手順	画面
48	ファイル名のリンクをクリックします。	
49	Web エディタが別画面で開き、訳文を編集できます。ポストエディットの結果は、プロジェクトに設定した翻訳メモリに保存されます。	
50	エディタ画面の「Document」メニューから「Export to bilingual MXLIFF」をクリックしてバイリンガルファイルをダウンロードし、Desktop エディタで編集することも可能です。 ※Desktop エディタは、Phrase 社のダウンロードページからダウンロードできます。	

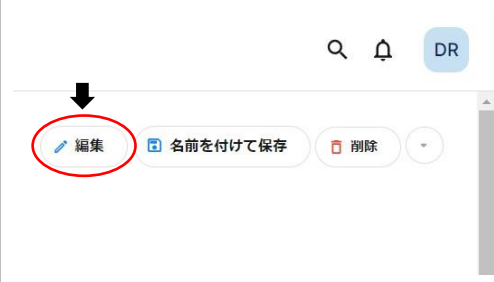
■ 訳文ダウンロード

#	手順	画面
51	ポストエディットが完了したら、プロジェクト画面でジョブを選択し、[ダウンロード] ボタンを押下して、訳文完成ファイルをダウンロードします。	 The screenshot shows a software interface with a 'ダウンロード' (Download) button. A dropdown menu is open, displaying several options. The option '訳文完成ファイル' (Translated File) is highlighted with a red rectangle, indicating it is the correct choice for downloading the translated text.

4. 分野/カスタムモデルの変更

分野/カスタムモデルの変更はプロジェクト編集画面で行います。分野/カスタムモデルごとにプロジェクトを作成し、文書の種類によってプロジェクトを使い分けることも可能です。

■ プロジェクト編集

#	手順	画面
52	プロジェクト画面右上の「編集」ボタンを押下します。	
53	「プロジェクトを編集」画面の「機械翻訳エンジン」欄で「変更」リンクをクリックします。	
54	「機械翻訳エンジンを選択」のポップアップ画面で登録済みの分野/カスタムモデルを指定し、「選択した MT エンジンを使用」ボタンを押下します。 ※使用したい分野/カスタムモデルが見当たらない場合は、「<u>機械翻訳エンジン</u>」の手順を参照して、分野/カスタムモデルを追加します。	

55	「保存」ボタンを押下し、プロジェクト画面に戻ります。画面上部のプロジェクト概要欄で、分野/カスタムモデルが変更されていることを確認します。	
----	--	--

■ プロジェクトの使い分け

#	手順	画面
56	「プロジェクト」の手順を参照して、「特許」分野を指定し、新しいプロジェクトを作成します。	
57	「IR」分野を指定し、もうひとつ新しいプロジェクトを作成します。	
58	特許関連の文書は特許プロジェクトの下で、IR 関連の文書は IR プロジェクトの下で翻訳ジョブを作成します。 ※プロジェクトはいくつでも作成できます。使わなくなったプロジェクトはアーカイブできます。アーカイブされたプロジェクトは通常のプロジェクトと同じ期間保存され、必要に応じて元に戻すことができます。	

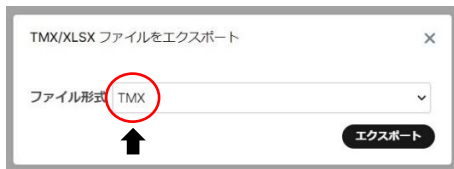
5. カスタムモデルの作成

カスタムモデルの作成は **Rozetta Phrase** ではなく **T-3MT 製品版**で行います。

Rozetta Phrase では、「.xlsx」と「.tmx」という 2 つのファイル形式で翻訳メモリをエクスポートできます。TMX (Translation Memory eXchange) は翻訳メモリデータの標準規格であり、多くの翻訳支援ツールがこの形式をサポートしています。

Rozetta Phrase の翻訳メモリを利用して、T-3MT 製品版でカスタムモデルを生成する場合、必ず TMX 形式の対訳データを利用するようにします。 カスタムモデルの生成時に、翻訳メモリに含まれる「タグ（書式情報）」が影響することがあります。T-3MT 製品版には、TMX 形式の翻訳メモリからこれらの「タグ」を自動的に削除する機能が実装されています。

■ 翻訳メモリのエクスポート

#	手順	画面
59	【翻訳メモリ】 タブを開きます。	
60	登録してある翻訳メモリの一覧から、使用する翻訳メモリの名称リンクをクリックします。	
61	【インポート/エクスポート】 欄で 【エクスポート】 ボタンを押下します。	
62	ポップアップ画面でファイル形式「TMX」を選びます。	
63	【エクスポート】 ボタンを押下します。	
64	TMX 形式の対訳ファイルがダウンロードされます。	

■ カスタムモデルの登録

#	手順	画面
65	TMX 形式の対訳ファイルを用意します。 ※ 対訳の行数下限は 10 行、行数上限は 10,000 行です。詳しくは、付録の「 T-3MT 仕様 」をご覧ください。	
66	T-3MT 製品版でカスタムモデルを作成します。 ※Rozetta Phrase ではなく T-3MT 製品版で行います。 ※指定できるベースモデルは、言語ペアによって異なります。詳しくは、付録の「 カスタムモデル生成言語 」をご覧ください。	
67	「 機械翻訳エンジン 」の手順を参照して、カスタムモデルを登録します。	

6. サポートの依頼

ロゼッタのサポートチームに日本語または英語でお問い合わせいただけます。お問い合わせ先は Phrase 社ではなくロゼッタになります。

■ ヘルプウィジェット

#	手順	画面
68	ログイン後の画面右下に表示される [ヘルプ] アイコンをクリックして、ヘルプウィジェットを開きます。	 A blue rounded button with a question mark icon and the text 'ヘルプ'. Below it is a dark blue status bar showing '15:12' and '2022/11/29'.
69	「お問い合わせ」ボタンを押下します。	 A screenshot of the 'ヘルプ' (Help) widget. It has a blue header with 'ヘルプ' and a minus sign. The main content is titled 'Rozetta Memsources サポート情報' and lists five items: 1. ロゼッタからのお知らせ, 2. 基本操作マニュアル, 3. よくある質問 (FAQ), 4. Rozetta Memsources RPA, 5. T-3MT. At the bottom, there is a blue button labeled 'お問い合わせ' (Contact Us), which is circled in red with a black arrow pointing to it.
70	必要事項を記入し、サポートを依頼します。 ※サポートの依頼には T-3MT 製品版の組織 ID が必要になります。組織 ID は T-3MT 製品版の [アカウント] タブの [プロフィール] で確認できます。	

7. 付録

■ 分野 ID、分野名、サポート言語ペア対応表

機械翻訳エンジン設定画面で分野 ID を指定する場合、以下の表を参照します。

2023 年 1 月現在

分野 ID	分野名 (日本語)	分野名 (英語)	サポート言語ペア
L000001	全体	All	日本語⇄英語 日本語⇄中国語（簡体字、繁体字） 英語⇄中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、ギリシャ語、スウェーデン語、スペイン語、タイ語、タガログ語、トルコ語、ドイツ語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシャ語、ポルトガル語、ポーランド語、マレー語、ロシア語
L100001	IT・機械・電気電子	IT, Machine, Electronics	日本語⇄英語
L120001	機械	Machine	日本語⇄英語
L130001	IT	IT	日本語⇄英語
L140001	建設	Construction	日本語⇄英語
L150001	自動車	Automobile	日本語⇄英語
L160001	電気	Electronics	日本語⇄英語
L200001	医薬・化学・環境	Medical, Chemical, Environment	日本語⇄英語
L210001	医薬	Medical, Pharmacy	日本語⇄英語
L211001	医学	Medical	日本語⇄英語

L212001	CMC	CMC	日本語⇔英語
L213001	非臨床	Non clinical	日本語⇔英語
L214001	臨床	Clinical	日本語⇔英語
L215001	ライフサイエンス	Life science	日本語⇔英語
L220001	化学	Chemical	日本語⇔英語
L230001	食品	Food	日本語⇔英語
L240001	環境	Environment	日本語⇔英語
L250001	農業	Agriculture	日本語⇔英語
L260001	エネルギー	Energy	日本語⇔英語
L270001	医療機器	Medical machine	日本語⇔英語
L300001	特許	Patent	日本語⇔英語
L410001	法務	Legal	日本語⇔英語
L420001	金融・IR・会計	Finance	日本語⇔英語
L500001	会話・メール	Talk	日本語⇔英語

■ 翻訳言語

2023 年 1 月の時点で翻訳可能な言語ペアは以下の通りです。日本語⇔多言語の翻訳には今後対応していく予定です。

- 日本語⇔英語
- 日本語⇔中国語（簡体字、繁体字）
- 英語⇔中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、ギリシャ語、スウェーデン語、スペイン語、タイ語、タガログ語、トルコ語、ドイツ語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシャ語、ポルトガル語、ポーランド語、マレー語、ロシア語

T-3MT エンジン は 25 言語に対応しています。

2023 年 1 月現在

#	翻訳言語 (日本語)	翻訳言語 (英語)
1	日本語 (ja)	Japanese (ja)
2	英語 (en)	English (en)
3	中国語 (簡体字) (zh-CN)	Chinese (simplified) (zh-CN)
4	中国語 (繁体字) (zh-TW)	Chinese (traditional) (zh-TW)
5	韓国語 (ko)	Korean (ko)
6	アラビア語 (ar)	Arabic (ar)
7	イタリア語 (it)	Italian (it)
8	インドネシア語 (id)	Indonesian (id)
9	ギリシャ語 (el)	Greek (el)
10	スウェーデン語 (sv)	Swedish (sv)
11	スペイン語 (es)	Spanish (es)
12	タイ語 (th)	Thai (th)
13	タガログ語 (tl)	Tagalog (tl)
14	トルコ語 (tr)	Turkish (tr)
15	ドイツ語 (de)	German (de)
16	ヒンディー語 (hi)	Hindi (hi)
17	フィンランド語 (fi)	Finnish (fi)
18	フランス語 (fr)	French (fr)
19	ベトナム語 (vi)	Vietnamese (vi)
20	ベンガル語 (bn)	Bengali (bn)
21	ペルシャ語 (fa)	Persian (fa)
22	ポルトガル語 (pt)	Portuguese (pt)
23	ポーランド語 (pl)	Polish (pl)
24	マレー語 (ms)	Malay (ms)
25	ロシア語 (ru)	Russian (ru)

■ カスタムモデル生成言語

- 2023 年 1 月の時点でカスタムモデル生成可能な言語ペアは以下の通りです。日本語⇔英語の言語ペアでは、すべてのベースモデル（IT、医薬、特許など）を指定できます。その他の言語ペアでは、「全体」のみ指定できます。
- 日本語⇔英語：全 11 ベースモデル
- 日本語⇔中国語（簡体字、繁体字）：「全体」のみ
- 英語⇔中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、ギリシャ語、スウェーデン語、スペイン語、タイ語、タガログ語、トルコ語、ドイツ語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシャ語、ポルトガル語、ポーランド語、マレー語、ロシア語：「全体」のみ

■ 対応ファイル形式

Rozetta Phrase は 50 種類以上のファイル形式をサポートしています。

2023 年 1 月現在

対応ファイル形式一覧

- .doc, .docx, .dot, .dotx, .docm, .dotm, .rtf, .ppt, .pptx, .pot, .potx, .pptm, .potm, .xls, .xlsx, .xlt, .xltx, .xslm, .xlsm
- .asciidoc, .adoc, .asc
- Google ドライブコネクター経由でインポートした Google ドキュメントは、MS オフィス形式に変換されます。
- OpenOffice または LibreOffice のドキュメント (.odt, .ods, .odp) はサポート対象ですが、MS オフィス形式に変換してからインポートすることをお勧めします。
- .htm, .html
- .idml, .icml, .mif (バージョン 8 以上), .psd, .svg
- .ttx (セグメント化されたファイル), .sdlxliff
- .xml, .xhtml, .xhtml, .xml (Android)
- .mxliff, .xliff (1.2), .xliff (2.0), .xliff (Drupal/WordPress), .mqxliff (MemoQ), .tmx
- .dita, .ditamap
- .md, .markdown
- .pdf
- .catkeys, .csv, .csv (Magento), .dbk (DocBook), .desktop, .DTD (Mozilla), .epub, .ini (Joomla), .json, .arb (JSON としてインポート), .lang, .Plist, .po, .properties, .properties (Java), .rc, .resx, .srt (Windows-1252), .strings, .sbv, .sub (SubViewer のみ), .ts, .txt, .vtt, .wiki, .yaml
- .tag, .xtg
- .zip

出典：Phrase 社の英文ヘルプ記事

■ T-3MT 仕様

Rozetta Phrase は以下の T-3MT 仕様による制限を受けます。

2023 年 1 月現在

T-3MT 仕様
自動翻訳 - 翻訳可能な言語ペア： - 日本語⇄英語 - 日本語⇄中国語（簡体字、繁体字） - 英語⇄中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、ギリシャ語、スウェーデン語、スペイン語、タイ語、タガログ語、トルコ語、ドイツ語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシャ語、ポルトガル語、ポーランド語、マレー語、ロシア語 - 指定可能な分野： - 日本語⇄英語：全 24 分野 - 日本語⇄中国語（簡体字、繁体字）：「全体」のみ - 英語⇄中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、ギリシャ語、スウェーデン語、スペイン語、タイ語、タガログ語、トルコ語、ドイツ語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシャ語、ポルトガル語、ポーランド語、マレー語、ロシア語：「全体」のみ - 同時アップロードファイル数：5 個
カスタムモデル生成 - カスタムモデル生成可能な言語ペア： - 日本語⇄英語 - 日本語⇄中国語（簡体字、繁体字） - 英語⇄中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、ギリシャ語、スウェーデン語、スペイン語、タイ語、タガログ語、トルコ語、ドイツ語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシャ語、ポルトガル語、ポーランド語、マレー語、ロシア語 - 指定可能なベースモデル： - 日本語⇄英語：全 11 ベースモデル - 日本語⇄中国語（簡体字、繁体字）：「全体」のみ - 英語⇄中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、アラビア語、イタリア語、インドネシア語、ギリシャ語、スウェーデン語、スペイン語、タイ語、タガログ語、トルコ語、ドイツ語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ベンガル語、ペルシャ語、ポルトガル語、ポーランド語、マレー語、ロシア語：「全体」のみ

- 対訳の行数下限：10 行、対訳の行数上限：10,000 行
- カスタムモデル保存期限：365 日間

出典：T-3MT ユーザーマニュアル